地域とともにくすり屋110年
ミズ・溝上薬局

『まちなかライブラリー 鎌田文庫』オープン記念対談

いま、語り合おう ほんとの出会い

この春、佐賀市水ヶ江に小さな図書館がオープンしました。名前は「まちなかライブラリー 鎌田文庫」（株式会社ミズ運営）。〝みんなでつくり、そだてる〟ユニークな図書館です。そこで名前の由来となった医師で作家の鎌田實さんと、「おへそこども園」の園長である吉村直記さんが、本の大切さやまちづくりへの思いを語り合いました。司会は佐賀清和学園理事長の富吉賢太郎さんです。

左から富吉さん、鎌田さん、吉村さん
（この対談は3月6日、まちなかライブラリー 鎌田文庫＝佐賀市水ヶ江で行いました）

絵本の魅力を子どもにも大人にも

富吉 佐賀のまちなかに公立の図書館と一味違う〝本のある空間〟ができました。まずは絵本の面白さ、大切さから教えてください。

吉村 僕が幼い頃は兄弟で順番に絵本を選んで、母親に読んでもらっていました。母は昔、幼稚園の先生をしていたこともあり、たくさんの絵本とふれあう機会を与えてくれたんです。忙しい毎日の中でも、僕たちのために読み聞かせの時間を作ってくれたことがうれしかったですね。読み聞かせというのは、わが子に愛情を伝える大切な手段のひとつだと思っています。

鎌田 父親にとっても絵本は宝物です。お母さんはおっぱいをあげながら母性を育んでいきますが、「お父さんは子どもに絵本を読んであげて親になる」と思うんです。父親になったらぜひ子どもを膝に乗せて、読み聞かせをしてほしいですね。

吉村 絵本は教育的な要素も大きいですよね。僕も今、子育ての真っ最中ですが、自分の子に何かを教えようとすると、つい「ああしなさい」「こうしなさい」とストレートな物言いになってしまう。でも絵本はやさしく語りかけながら、大切なことをやわらかく伝えてくれるんです。

富吉 『クシュラの奇跡－140冊の絵本との日々』（ドロシー・バトラー著、のら書店）には、重い障がいをもって生まれた子が、生後4ヶ月から絵本を読んでもらって成長し、立派に自立した感動の人生が紹介されています。

吉村 絵本は、赤ちゃんの時には愛情や愛着を伝えるツールになります。年長くらいになると絵本からいろんな価値観を学び、想像力を膨らませ、意欲を高める効果も。僕は『おしいれのぼうけん』（ふるた たるひ・たばた せいいち作、童心社）や『エルマーのぼうけん』（ルース・スタイルス・ガネット作、ルース・クリスマン・ガネット絵、渡辺 茂男訳、福音館書店）を読んで、ワクワクし、冒険心や探求心を掻き立てられた思い出があります。それが今の仕事にも生かされています。

鎌田 僕が30代の頃は仕事が忙しくて、幼い娘に読み聞かせ一つしてあげられなかった。そこで彼女が遠くの大学に入ってから、毎年、誕生日に絵本に手紙をつけて贈ることにしたんです。すると娘がとても喜んでくれて、いい関係を築くきっかけになりました。男親と娘って難しいところがあるんですが、絵本にはそこを乗り越える、なにか大きな力があるような気がします。

富吉 ノンフィクション作家の柳田邦男さんは「大人こそ絵本を」と言われていますね。

鎌田 「人生で絵本との出合いは3回ある」とも言われています。1回目は幼い時、2回目は親になった時、3回目は年を重ねて人生を振り返る時。分厚い本を読むのがつらくなったご年配の方にも、僕は絵本をおすすめしたい。

富吉 絵本の選び方で何かアドバイスはありますか。

吉村 子どもと一緒に本屋さんに行って、自分で本を選ばせています。絵のタッチで選んだり、昔ながらのロングセラー本もいいですね。

鎌田 ここ鎌田文庫は絵本の充実に力を入れています。長崎市にある子どもの本の専門店「童話館」の協力で、約1200冊もの児童書をそろえているんです。長年読み継がれてきた名作が中心ですので、絵本選びの参考になるでしょう。

諏訪中央病院名誉院長
医師・作家 鎌田 實さん

プロフィール
かまた・みのる　1948年、東京都生まれ。30代で諏訪中央病院院長に就任、地域包括ケアの先駆けとなり、長野県の長寿日本一に貢献する。チェルノブイリ原発事故後のベラルーシや、イラク難民キャンプなどへの医療支援にも取り組む。ベストセラー『がんばらない』、絵本『雪とパイナップル』ほか著書多数。

人生を変えた一冊

富吉 本を読む、本を手にするとは、私たちにとってどんな意味があるのでしょうか。

鎌田 僕が高校3年の時、家が貧しいために父親から大学進学を反対され、悶々とした日々を過ごしました。そんな時に読みふけったのが、スコットランドの作家の『クローニン全集』（三笠書房）。貧しい炭鉱町の人々を救う医師の姿が描かれ、僕も医学の道に進む決意を固め、ついに父を説得しました。人生の進路を、本が後押ししてくれたのです。

吉村 僕は5歳の頃から空手をしてきて、大学を卒業したら中高の部活の先生になろうと思っていましたが、ソニー創業者の一人であり、教育にも熱心だった井深大さんの『幼稚園では遅すぎる』（サンマーク出版）に出合い、幼児教育の大切さに目覚めたんです。それから幼児教育の専門書を読み漁るようになりました。壁にぶつかった時に乗り越えるヒントも本から得ることができますから、読書は私の人生の上で欠かせないものです。

鎌田 僕は定期的に佐賀を訪れ、ミズと協力して「がんばらない健康長寿実践塾」を行っています。それは、ミズの「佐賀を健康長寿日本一にする」という目標、さらに「人づくり、まちづくりに貢献したい」という熱意に心を動かされたからです。鎌田文庫がある「みずがいえ」には薬局やコンビニ、美容室、温浴施設、食堂の他にもシェアハウス、高齢者向け賃貸マンションもあります。さらに近隣にはクリニックもあるので、かつて佐賀の歴史の中心地だった水ヶ江地区が、元気を取り戻すきっかけになるでしょう。

まちに図書館があるということ

富吉 ここ鎌田文庫が、新しいまちづくりの拠点にもなると期待しています。

鎌田 子どもからお年寄りまで元気になれる仕掛けが、ここにはたくさんあるんですよ。たとえば僕が寄贈した本は、中に線を引いたり、ページを折ったりした痕跡を残したまま。僕の読書法が分かる仕掛けです。以前この地（佐賀市民会館跡地）にあったクスノキは、テーブルや洞穴小屋「くまさんのおうち」に姿を変えて生かされました。絵本の画家や設計者、書店など多くの仲間も、展示や選書に協力しています。ここはみんなでつくり、成長していく図書館なのです。

富吉 「健康寿命が長い地域は読書量が多い」と聞きました。鎌田文庫は住民の健康と幸せをも支える場としての夢が膨らみますね。

吉村 水ヶ江地区はおへそグループの施設もあり、子育てをするにも理想的な環境です。こども園には児童発達支援施設を併設し、子どもたちは障がいの有無に関係なく交流しています。保護者や地域の皆さんも安心して暮らせるコミュニティに成長していくのではないでしょうか。

鎌田 利益追求型となった今の日本。まちづくりの中にどれだけ〝あたたかな血〟をかよわせられるかが、今後の課題になるでしょう。ここ鎌田文庫にみんなが集い、心を育む場所になることを願います。

社会福祉法人 みずものがたり 理事
おへそグループ 統括園長 吉村 直記さん

プロフィール
よしむら・なおき　1985年、佐賀市生まれ。5歳から空手を学ぶ。日本体育大学在学中に幼児教育に興味を持ち、卒業後、保育コンサルティング会社に入社。退職後2011年、25歳で「おへそ保育園」の園長に就任。現在は認定こども園、放課後学童クラブ、児童発達支援施設などの「おへそグループ」を統括。株式会社ミズ地域連携グループの一員でもある。

司会 富吉 賢太郎さん
学校法人 佐賀清和学園 理事長
佐賀新聞社 名誉論説委員長

鎌田先生のおすすめ絵本と紙芝居

●『わたしのて』（童話館出版）
作：ジーン・ホルゼンターラー
絵：ナンシー・タフリ
訳：はるみ こうへい
手はいろんなことができる。なかでもステキなのは「ほかのひとのてをにぎれるということ」。他者の存在の気づきになる1冊。

●『マリールイズいえでする』（童話館出版）
作：N.S.カールソン
絵：J.アルエゴ＆A.デューイ
訳：星川 菜津子
マングースの女の子とお母さんの楽しい家出の物語。子どもに自己決定させている点が面白く、親も学べる。

●『100年たったら』（アリス館）
作：石井 睦美
絵：あべ 弘士
広い草原でライオンと飛べなくなった鳥が出会い、一緒に過ごすようになるが…。はるかな時と巡る命を描いた切なく壮大な物語。大人が読んでも感動できる深い物語。

●『かまた先生のアリとキリギリス』（童心社）
脚本：鎌田 實
絵：スズキ コージ
アリとキリギリスのあたたかな友情を描いた紙芝居。他者にレッテルを貼らず、夢を持ち続け、手を差し伸べることの大切さを伝える。

まちなかライブラリー 鎌田文庫

健康長寿の延伸に大切な読書。読書は人を若返らせます。体が運動を必要とするように脳にも知的活動が必要です。
鎌田文庫は皆さまからの推薦図書・寄贈図書を紹介するコーナーや絵本などの児童図書も充実。
幼少時から読書習慣を身に付けることは、知的好奇心を促します。また、高齢者の認知機能改善につながります。
0歳から100歳まで楽しめる、みんなでつくる「まちなかライブラリー 鎌田文庫」です。

『まちなかライブラリー 鎌田文庫からのお願い』
鎌田文庫では、皆さまからの推薦図書・寄贈図書の紹介コーナーを備えています。
まちのみんなでつくる図書館です。ご支援、ご協力をお待ちしています。
電話番号：0952-22-7974　株式会社ミズ　担当：田久保（たくぼ）

古本BOX
不要になった本を投函するBOXを準備しています。
本は、書棚に陳列もしくは廃棄のお手伝いをします。
古本BOXに気軽にお持ちください。

住所：佐賀市水ヶ江1-2-22（佐賀市民会館跡地）
電話番号：0952-20-0181

溝上薬局 本店
（調剤薬局・漢方相談・化粧品専門店）
ローソンSミズ本店（コンビニエンスストア）
まちなかライブラリー 鎌田文庫
aiai beauty salon
あい菜食堂
温浴施設 あいらぶゆ
みずがいえ 高齢者向け賃貸マンション 学生専用シェアハウス（女性専用）

「温浴施設 あいらぶゆ」と「あい菜食堂」は新型コロナウイルス拡大の防止の為、オープンを見合わせております。ご了承ください。